

開講科目

中学校・高等学校教諭免許状

- 「教育の基礎的理解に関する科目等」についても確認すること。⇒pp.122～123参照
- 「大学が独自に設定する科目」についても確認すること。⇒p.124参照
- 「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」についても確認すること。⇒p.124参照

教科及び教科の指導法に関する科目

社会

【教育職員免許法の該当法令】 5条別表1 6条別表3 6条別表4 6条別表8（＊を除く）

施行規則に定める科目区分等			開講 コード	開講科目名	開講 単位	履修 方法	学費 (円)	6条別表8 適用外	備考
科目 区分	各科目に含めることが必要な事項								
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史・外国史	Q5101	○日本史概論	4	T	18,000		
			Q5103	○東洋史概論	4	T	18,000		
			Q5105	○西洋史概論	4	T	18,000		
			Q5413	日本文化史	2	T	9,000		
			Q5115	東北アジア史	2	T	9,000		
		地理学(地誌を含む。)	Q5503	○人文地理学	4	T	18,000		
			Q5505	○自然地理学	4	T	18,000		
			Q5112	○地誌学	4	T	18,000		地誌を含む。
			Q5114	歴史地理学	2	T	9,000		
		「法学、政治学」	Q5507	○法学概論	4	T	18,000		※1
			Q5509	○国際政治学	2	T	9,000		※1
			Q5417	政治文化史	2	T	9,000		
		「社会学、経済学」	T5414	○社会学概論	2	T	9,000		※2
			V5413	○経済学概論	2	T	9,000		※2
			Q5423	社会経済史	2	T	9,000		
			Q5111	経済地理学	2	T	9,000		
		「哲学、倫理学、宗教学」	Q5409	○哲学概論	2	T	9,000		※3
			Q5410	○倫理学概論	2	T	9,000		※3
			Q5510	○宗教学概論	2	T	9,000		※3
			Q5419	日本思想史	2	T	9,000		
			Q5420	東洋思想史	2	T	9,000		
			Q5421	西洋思想史	2	T	9,000		
			Q5422	宗教文化	2	T	9,000		
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		Z5151	中等教科教育法社会Ⅰ	4	T	18,000		
			Z5153	中等教科教育法社会Ⅱ	4	T	18,000	*	※4

【「開講科目名」欄の記号について】

●科目名の前に○印がついている科目は、法定基準(施行規則に定める科目区分等)の各科目区分における一般的包括的内容を含む科目を表す。⇒p.105参照

1つの系列で○印がついている科目が複数ある場合、そのすべてを修得しなければ、法定科目の当該系列における一般的包括的内容を充足したことにはならないため注意すること(備考欄に※を付す科目は除く)。

【備考】

- ※1:「法学概論」または「国際政治学」のいずれか1科目を修得することで、施行規則に定める当該科目区分の一般的包括的内容を満たす。
- ※2:「社会学概論」または「経済学概論」のいずれか1科目を修得することで、施行規則に定める当該科目区分の一般的包括的内容を満たす。
- ※3:「哲学概論」、「倫理学概論」、「宗教学概論」の3科目のうち、いずれか1科目を修得することで、施行規則に定める当該科目区分の一般的包括的内容を満たす。
- ※4:中学校2種の免許状取得に際し、各教科の指導法は「中等教科教育法社会Ⅱ」(4単位)のみの修得では事項を満たさない。その場合は、必ず「中等教科教育法社会Ⅰ」を修得すること。

地理歴史

【教育職員免許法の該当法令】 5条別表1 6条別表3 6条別表4 6条別表8

施行規則に定める科目区分等			開講 コード	開講科目名	開講単位	履修方法	学費(円)
科目 区分	各科目に含めることが必要な事項						
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史	Q5101	○日本史概論	4	T	18,000
			Q5413	日本文化史	2	T	9,000
		外国史	Q5103	○東洋史概論	4	T	18,000
			Q5105	○西洋史概論	4	T	18,000
			Q5115	東北アジア史	2	T	9,000
		人文地理学・自然地理学	Q5503	○人文地理学	4	T	18,000
			Q5505	○自然地理学	4	T	18,000
			Q5114	歴史地理学	2	T	9,000
		地誌	Q5112	○地誌学	4	T	18,000
		各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		Z5156	中等教科教育法社会・地理歴史	4	T

【「開講科目名」欄の記号について】

- 科目名の前に○印がついている科目は、法定基準(施行規則に定める科目区分等)の各科目区分における一般的包括的内容を含む科目を表す。⇒p.105参照
- 1つの系列で○印がついている科目が複数ある場合、そのすべてを修得しなければ、法定科目の当該系列における一般的包括的内容を充足したことになるため注意すること。

公民

【教育職員免許法の該当法令】 5条別表1 6条別表3 6条別表4 6条別表8

施行規則に定める科目区分等			開講 コード	開講科目名	開講単位	履修方法	学費(円)	備考
科目 区分	各科目に含めることが必要な事項							
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	「法学(国際法を含む。)、 政治学(国際政治を含む。)」	Q5507	○法学概論	4	T	18,000	国際法を含む。 ※5
			Q5509	○国際政治学	2	T	9,000	国際政治を含む。 ※5
			Q5417	政治文化史	2	T	9,000	
		「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	T5414	○社会学概論	2	T	9,000	※6
			V5413	○経済学概論	2	T	9,000	国際経済を含む。 ※6
			Q5423	社会経済史	2	T	9,000	
			Q5111	経済地理学	2	T	9,000	
		「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	Q5409	○哲学概論	2	T	9,000	※7
			Q5410	○倫理学概論	2	T	9,000	※7
			Q5510	○宗教学概論	2	T	9,000	※7
			Q5419	日本思想史	2	T	9,000	
			Q5420	東洋思想史	2	T	9,000	
			Q5421	西洋思想史	2	T	9,000	
			Q5422	宗教文化	2	T	9,000	
		各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		Z5158	中等教科教育法社会・公民	4	T	18,000

【「開講科目名」欄の記号について】

- 科目名の前に○印がついている科目は、法定基準(施行規則に定める科目区分等)の各科目区分における一般的包括的内容を含む科目を表す。⇒p.105参照

【備考】

- ※5:「法律学概論」または「国際政治学」のいずれか1科目を修得することで、施行規則に定める当該科目区分の一般的包括的内容を満たす。
- ※6:「社会学概論」または「経済学概論」のいずれか1科目を修得することで、施行規則に定める当該科目区分の一般的包括的内容を満たす。
- ※7:「哲学概論」、「倫理学概論」、「宗教学概論」の3科目のうち、いずれか1科目を修得することで、施行規則に定める当該科目区分の一般的包括的内容を満たす。

はじめに

教員免許状・資格の取得

学部(本科)

課程本科

科目履修コース

本科入学資格コース

各種実習

開講科目

*「社会」・「地理歴史」・「公民」免許状の共通開設について

「社会」・「地理歴史」・「公民」の3免許状については、歴史学部歴史学科で共通開設しているため、同じ開講コード・開講科目名の科目を1科目履修することで、「社会」および「地理歴史」、「社会」および「公民」においても同科目を修得したことから取り扱うことができます。なお、1年間に登録可能な単位数の上限は44単位ですが、2年目以降履修を継続し、科目追加登録手続きをすることにより、「社会」「地理歴史」「公民」の3免許状の取得も可能です。

施行規則に定める科目区分等				開講 コード	開講科目名	開講 単位	履修 方法	学費(円)	備考	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項									
	社会	地理歴史	公民							
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史・ 外国史	日本史		Q5101	○日本史概論	4	T	18,000	
					Q5413	日本文化史	2	T	9,000	
			外国史		Q5103	○東洋史概論	4	T	18,000	
					Q5105	○西洋史概論	4	T	18,000	
					Q5115	東北アジア史	2	T	9,000	
		地理学 (地誌を含む。)	人文地理学・ 自然地理学		Q5503	○人文地理学	4	T	18,000	
					Q5505	○自然地理学	4	T	18,000	
					Q5114	歴史地理学	2	T	9,000	
			地誌		Q5112	○地誌学	4	T	18,000	
		「法学、 政治学」	「法学(国際 法を含む。)、 政治学(国 際政治を含 む。)」		Q5507	○法学概論	4	T	18,000	国際法を含む。 ※8
					Q5509	○国際政治学	2	T	9,000	国際政治を含む。 ※8
					Q5417	政治文化史	2	T	9,000	
		「社会学、 経済学」	「社会学、 経済学(国 際経済を含 む。)」		T5414	○社会学概論	2	T	9,000	※9
					V5413	○経済学概論	2	T	9,000	国際経済を含む。 ※9
					Q5423	社会経済史	2	T	9,000	
					Q5111	経済地理学	2	T	9,000	
		「哲学、 倫理学、 宗教学」	「哲学、倫理 学、宗教学、 心理学」		Q5409	○哲学概論	2	T	9,000	※10
					Q5410	○倫理学概論	2	T	9,000	※10
					Q5510	○宗教学概論	2	T	9,000	※10
					Q5419	日本思想史	2	T	9,000	
					Q5420	東洋思想史	2	T	9,000	
					Q5421	西洋思想史	2	T	9,000	
					Q5422	宗教文化	2	T	9,000	
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)				Z5151	中等教科教育法社会Ⅰ	4	T	18,000	※11
					Z5156	中等教科教育法社会・地理歴史	4	T	18,000	
					Z5158	中等教科教育法社会・公民	4	T	18,000	

【「開講科目名」欄の記号について】

●科目名の前に○印がついている科目は、法定基準(施行規則に定める科目区分等)の各科目区分における一般的包括的内容を含む科目を表す。⇒p.105参照

1つの系列で○印がついている科目が複数ある場合、そのすべてを修得しなければ、法定科目の当該系列における一般的包括的内容を充足したことにはならないため注意すること(備考欄に※を付す科目は除く)。

【備考】

- ※8:「法学概論」または「国際政治学」のいずれか1科目を修得することで、施行規則に定める当該科目区分の一般的包括的内容を満たす。
- ※9:「社会学概論」または「経済学概論」のいずれか1科目を修得することで、施行規則に定める当該科目区分の一般的包括的内容を満たす。
- ※10:「哲学概論」、「倫理学概論」、「宗教学概論」の3科目のうち、いずれか1科目を修得することで、施行規則に定める当該科目区分の一般的包括的内容を満たす。
- ※11:中学校「社会」免許状を取得する場合、「中等教科教育法社会Ⅰ」(4単位)を含み8単位以上修得すること。各教科の指導法は「中等教科教育法社会・地理歴史」(4単位)および「中等教科教育法社会・公民」(4単位)の修得のみでは事項を含まない。

宗教

【教育職員免許法の該当法令】 5条別表1 6条別表3 6条別表4 6条別表8(※を除く)

施行規則に定める科目区分等			開講 コード	開講科目名	開講 単位	履修 方法	学費 (円)	6条別表8 適用外	備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項								
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	宗教学	B5113	○宗教学概論	2	T	9,000		
			B5105	仏教学の基礎	2	T	9,000		
			B5231	仏教学研究(初期・部派)	2	SR	—		
			B5232	仏教学研究(大乘・チベット)	2	SR	—		
			B5233	仏教学研究(中国)	2	SR	—		
			B5234	仏教学研究(日本)	2	SR	—		
		宗教史	B5114	○宗教史	2	T	9,000		
			B5403	浄土教史	2	T	9,000		
			B5404	浄土宗史	2	T	9,000		
		「教理学、哲学」	B5432	○哲学概論	2	T	9,000		
			B5104	浄土学の基礎	2	T	9,000		
			B5106	仏教文化学の基礎	2	T	9,000		
			B5213	浄土学研究	2	SR	—		
			B5214	浄土宗学研究	2	SR	—		
			B5418	仏教哲学(インド)	2	T	9,000		
			B5419	仏教哲学(中国・日本)	2	T	9,000		
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	Z5161	中等教科教育法宗教Ⅰ	4	T	18,000			
		Z5163	中等教科教育法宗教Ⅱ	4	T	18,000	*	※12	

【「開講科目名」欄の記号について】

●科目名の前に○印がついている科目は、法定基準(施行規則に定める科目区分等)の各科目区分における一般的包括的内容を含む科目を表す。⇒p.105参照

【履修方法】

●履修方法が「SR」の科目は、スクーリングの受講が必要。科目毎に受講日数が2～3日間、別途受講料(9,000円)が必要(目安)。

【備考】

●※12:高校1種ならびに中学校2種の免許状取得に際し、各教科の指導法は「中等教科教育法宗教Ⅱ」(4単位)のみの修得では事項を満たさない。その場合は必ず「中等教科教育法宗教Ⅰ」を修得すること。

国語

【教育職員免許法の該当法令】 5条別表1 6条別表3 6条別表4 6条別表8(※を除く)

施行規則に定める科目区分等		開講コード	開講科目名	開講単位	履修方法	学費(円)	6条別表8適用外	備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項							
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	M5111	○日本語学概論	4	T	18,000	音声言語及び文章表現に関するものを含む。
			M5420	言語学概論	4	T	18,000	
			M5113	日本語文法	4	T	18,000	
		国文学(国文学史を含む。)	M5107	○日本文学概論	4	T	18,000	
			M5109	○日本文学史	4	T	18,000	国文学史を含む。
			M5501	文学概論	4	T	18,000	
			M5103	京都と文学(古典)	2	T	9,000	
			M5104	京都と文学(近・現代)	2	T	9,000	
		漢文学	M5117	○漢文学	4	T	18,000	
		書道(書写を中心とする。)	M5505	○書道	4	R・S	18,000	書写を中心とする。 ※13
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		Z5171	中等教科教育法国語Ⅰ	4	T	18,000	
			Z5173	中等教科教育法国語Ⅱ	4	T	18,000	※14

【「開講科目名」欄の記号について】

●科目名の前に○印がついている科目は、法定基準(施行規則に定める科目区分等)の各科目区分における一般的包括的内容を含む科目を表す。⇒p.105参照

1つの系列で○印がついている科目が複数ある場合、そのすべてを修得しなければ、法定科目の当該系列における一般的包括的内容を充足したことになるため注意すること。

【履修方法】

●履修方法が「R・S」の科目は、スクーリングの受講が必要。受講日数が4日間、別途受講料(26,000円)が必要(目安)。

【備考】

●※13:中学校教諭免許状申請時のみ使用可能。高等学校教諭免許状申請時の単位には算入できない。

●※14:高校1種ならびに中学校2種の免許状取得に際し、各教科の指導法は「中等教科教育法国語Ⅱ」(4単位)のみの修得では事項を満たさない。その場合は必ず「中等教科教育法国語Ⅰ」を修得すること。

はじめに

教員免許状・
資格の取得

学部(本科)

課程本科

科目履修コース

本科入学資格コース

各種実習

開講科目

書道

【教育職員免許法の該当法令】 5条別表1 6条別表3 6条別表4

※高等学校教諭1種免許状「書道」のみを取得希望の場合、教育職員免許法第6条別表第8を根拠にした取得はできません（登録不可）。

施行規則に定める科目区分等			開講 コード	開講科目名	開講 単位	履修 方法	学費 (円)	備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項							
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	書道(書写を含む。)	M5505	○書道	4	R・S	18,000	書写を含む。
		書道史	M5119	○日本書道史	2	T	9,000	
			M5120	○中国書道史	2	T	9,000	
		「書論、鑑賞」	M5507	○書論	2	T	9,000	
		「国文学、漢文学」	M5107	○日本文学概論	4	T	18,000	※15
			M5117	○漢文学	4	T	18,000	※15
			M5109	日本文学史	4	T	18,000	
			M5501	文学概論	4	T	18,000	
			M5103	京都と文学(古典)	2	T	9,000	
			M5104	京都と文学(近・現代)	2	T	9,000	
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		Z5176	中等教科教育法書道	4	T	18,000	

【「開講科目名」欄の記号について】

●科目名の前に○印がついている科目は、法定基準(施行規則に定める科目区分等)の各科目区分における一般的包括的内容を含む科目を表す。⇒p.105参照

1つの系列で○印がついている科目が複数ある場合、そのすべてを修得しなければ、法定科目の当該系列における一般的包括的内容を充足したことにはならないため注意すること(備考欄に※を付す科目は除く)。

【履修方法】

●履修方法が「R・S」の科目は、スクーリングの受講が必要。受講日数が4日間、別途受講料(26,000円)が必要(目安)。

【備考】

●※15:「日本文学概論」または「漢文学」のいずれか1科目を修得することで、施行規則に定める当該科目区分の一般的包括的内容を満たす。

*「国語」・「書道」免許状の共通開設について

「国語」・「書道」の2教科については、文学部日本文学科で共通開設しているため、同じ開講コード・開講科目名の科目を1科目履修することで、同科目を修得したこととして取り扱うことができます。なお1年間に登録可能な単位数の上限は44単位ですが、2年目以降履修を継続し、科目追加登録手続きをすることにより、「国語」・「書道」の2教科の教員免許状取得も可能です。

施行規則に定める科目区分等				開講 コード	開講科目名	開講 単位	履修 方法	学費 (円)	備考		
科目区分		各科目に含めることが必要な事項									
		国語	書道								
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)		M5111	○日本語学概論	4	T	18,000	音声言語及び文章表現に関するものを含む。		
				M5420	言語学概論	4	T	18,000			
				M5113	日本語文法	4	T	18,000			
		国文学(国文学史を含む。)	「国文学、漢文学」	M5107	○日本文学概論	4	T	18,000	※16		
				M5109	○日本文学史	4	T	18,000	国文学史を含む。		
				M5501	文学概論	4	T	18,000			
				M5103	京都と文学(古典)	2	T	9,000			
				M5104	京都と文学(近・現代)	2	T	9,000			
				M5117	○漢文学	4	T	18,000	※16		
		漢文学									
		書道(書写を中心とする。)	書道(書写を含む。)	M5505	○書道	4	R・S	18,000	※17		
			書道史	M5119	○日本書道史	2	T	9,000			
				M5120	○中国書道史	2	T	9,000			
			「書論、鑑賞」	M5507	○書論	2	T	9,000			
		各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)			Z5171	中等教科教育法国語Ⅰ	4	T	18,000		
	Z5173				中等教科教育法国語Ⅱ	4	T	18,000			
Z5176	中等教科教育法書道				4	T	18,000				

【「開講科目名」欄の記号について】

●科目名の前に○印がついている科目は、法定基準(施行規則に定める科目区分等)の各科目区分における一般的包括的内容を含む科目を表す。⇒p.105参照

1つの系列で○印がついている科目が複数ある場合、そのすべてを修得しなければ、法定科目の当該系列における一般的包括的内容を充足したことにはならないため注意すること(備考欄に※を付す科目は除く)。

【履修方法】

●履修方法が「R・S」の科目は、スクーリングの受講が必要。受講日数が4日間、別途受講料(26,000円)が必要(目安)。

【備考】

●※16:高等学校教諭免許状「書道」申請においては、「日本文学概論」または「漢文学」のいずれか1科目を履修することで施行規則に定める当該科目区分の一般的包括的内容を満たす。

●※17:高等学校教諭免許状「国語」申請時の単位には算入不可(中学校教諭免許状「国語」においては書写を中心とする。高等学校教諭免許状「書道」においては書写を含む)。

中国語

【教育職員免許法の該当法令】 5条別表1 6条別表3 6条別表4 6条別表8(※を除く)

施行規則に定める科目区分等		開講コード	開講科目名	開講単位	履修方法	学費(円)	6条別表8適用外	備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項							
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	N5109	○中国語概論	4	T	18,000		
		N5501	中国語学研究1	2	SR	—		
		N5502	中国語学研究2	2	SR	—		
		N5101	○中国現代文学史	4	T	18,000		
		N5203	○中国文学研究基礎1	2	SR	—		
		N5204	○中国文学研究基礎2	2	SR	—		
		N5231	○中国語基礎演習1	2	SR	—		
		N5232	○中国語基礎演習2	2	SR	—		
		N5535	○異文化理解「中国」	4	T	18,000		
		N5533	日中比較文化研究	4	T	18,000		
		N5537	中国文化研究	4	T	18,000		
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	Z5181	中等教科教育法中国語Ⅰ	4	T	18,000		
		Z5183	中等教科教育法中国語Ⅱ	4	T	18,000	*	※18

【「開講科目名」欄の記号について】

●科目名の前に○印がついている科目は、法定基準(施行規則に定める科目区分等)の各科目区分における一般的包括的内容を含む科目を表す。⇒p.105参照

1つの系列で○印がついている科目が複数ある場合、そのすべてを修得しなければ、法定科目の当該系列における一般的包括的内容を充足したことにはならないため注意すること。

【履修方法】

●履修方法が「SR」の科目は、スクーリングの受講が必要。科目毎に受講日数が2～3日間、別途受講料(9,000円)が必要(目安)。

【備考】

●※18: 高校1種ならびに中学校2種の免許状取得に際し、各教科の指導法は「中等教科教育法中国語Ⅱ」(4単位)のみの修得では事項を満たさない。その場合は必ず「中等教科教育法中国語Ⅰ」を修得すること。

英語

【教育職員免許法の該当法令】 5条別表1 6条別表3 6条別表4 6条別表8(※を除く)

施行規則に定める科目区分等		開講コード	開講科目名	開講単位	履修方法	学費(円)	6条別表8適用外	備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項							
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	P5105	○英語学概論	2	T	9,000		
		P5207	英語学研究	2	T	9,000		
		P5205	○英文法	2	T	9,000		
		P5101	○英語文学論1	2	T	9,000		
		P5102	○英語文学論2	2	T	9,000		
		P5208	英語文学研究1	2	T	9,000		
		P5209	英語文学研究2	2	T	9,000		
		P5106	○English Conversation1	1	S	—		
		P5107	○English Conversation2	1	S	—		
		P5108	○English Conversation3	1	S	—		
		P5109	○English Conversation4	1	S	—		
		P5401	○English Writing	2	T	9,000		
		P5110	○English Listening Skills1	1	S	—		
		P5111	○English Listening Skills2	1	S	—		
		P5404	Media English	2	T	9,000		
		P5416	○英語圏文化の理解	2	SR	—		
		P5417	西洋言語文化論	2	T	9,000		
		P5418	西洋社会文化論	2	T	9,000		
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	Z5186	中等教科教育法英語Ⅰ	4	T	18,000		
		Z5188	中等教科教育法英語Ⅱ	4	T	18,000	*	※19

【「開講科目名」欄の記号について】

●科目名の前に○印がついている科目は、法定基準(施行規則に定める科目区分等)の各科目区分における一般的包括的内容を含む科目を表す。⇒p.105参照

1つの系列で○印がついている科目が複数ある場合、そのすべてを修得しなければ、法定科目の当該系列における一般的包括的内容を充足したことにはならないため注意すること。

【履修方法】

●履修方法が「S」「SR」の科目は、スクーリングの受講が必要。科目毎に受講日数が2～3日間、別途受講料(4,500～14,000円)が必要(目安)。

【備考】

●※19: 高校1種ならびに中学校2種の免許状取得に際し、各教科の指導法は「中等教科教育法英語Ⅱ」(4単位)のみの修得では事項を満たさない。その場合は必ず「中等教科教育法英語Ⅰ」を修得すること。

はじめに

教員免許状・資格の取得

学部(本科)

課程本科

科目履修コース

本科入学資格コース

各種実習

開講科目

数学

【教育職員免許法の該当法令】 5条別表1 6条別表3 6条別表4 6条別表8(※を除く)

施行規則に定める科目区分等		開講コード	開講科目名	開講単位	履修方法	学費(円)	6条別表8適用外	備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項							
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	S5561	○代数学概論	4	T	18,000		
		S5563	○代数学演習	2	I・S	10,000		
		S5566	○幾何学概論	4	T	18,000		
		S5568	○幾何学演習	2	I・S	10,000		
		S5571	○解析学概論	4	T	18,000		
		S5573	○解析学演習	2	I・S	10,000		
		S5576	○確率論	4	T	18,000		
		S5578	○確率論演習	2	I・S	10,000		
		S5582	○プログラミング1	2	I・S	10,000		
		S5583	プログラミング2	2	I・S	10,000		
		S5584	データ解析演習	2	I・S	10,000		
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	S5656	中等教科教育法数学Ⅰ	4	T	18,000		
		S5658	中等教科教育法数学Ⅱ	4	T	18,000	*	※20

【「開講科目名」欄の記号について】

●科目名の前に○印がついている科目は、法定基準(施行規則に定める科目区分等)の各科目区分における一般的包括的内容を含む科目を表す。⇒p.105参照

1つの系列で○印がついている科目が複数ある場合、そのすべてを修得しなければ、法定科目の当該系列における一般的包括的内容を充足したことにはならないため注意すること。

【履修方法】

●履修方法が「I・S」の科目は、スクーリングの受講が必要。科目毎に受講日数が2～3日間、別途受講料(4,500～11,000円)が必要(目安)。

【備考】

●※20: 高校1種ならびに中学校2種の免許状取得に際し、各教科の指導法は「中等教科教育法数学Ⅱ」(4単位)のみの修得では事項を満たさない。その場合は必ず「中等教科教育法数学Ⅰ」を修得すること。

●科目の履修難易度については、理学部1～2年相当の内容となります。

情報

【教育職員免許法の該当法令】 5条別表1 6条別表3 6条別表4 6条別表8

施行規則に定める科目区分等		開講コード	開講科目名	開講単位	履修方法	学費(円)	備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項						
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	T5254	○情報社会論	2	T	15,000	
		T5256	○メディア・リテラシー	2	T	15,000	
		T5253	情報・メディアとコミュニケーション	2	T	15,000	
		T5257	メディア文化論	2	T	15,000	
		T5255	○コンピュータ論	2	T	15,000	
		T5258	○情報・メディア実習1	1	I・S	10,000	実習を含む。
		T5533	基礎統計学	4	T	30,000	
		T5521	○情報システム論	2	T	15,000	
		T5260	○情報システム実習	1	I・S	10,000	実習を含む。
		T5421	○情報通信ネットワーク論	2	T	15,000	
		T5522	○情報通信ネットワーク実習	1	I・S	10,000	実習を含む。
		T5523	○デジタル・メディア論	2	T	15,000	
		T5259	○情報・メディア実習2	1	I・S	10,000	実習を含む。
		T5524	○情報ビジネス	2	T	15,000	
		T5423	情報産業と職業	2	T	15,000	
		T5424	マスコミ論	2	T	15,000	
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	Z5191	中等教科教育法情報	4	T	30,000	

【「開講科目名」欄の記号について】

●科目名の前に○印がついている科目は、法定基準(施行規則に定める科目区分等)の各科目区分における一般的包括的内容を含む科目を表す。⇒p.105参照

1つの系列で○印がついている科目が複数ある場合、そのすべてを修得しなければ、法定科目の当該系列における一般的包括的内容を充足したことにはならないため注意すること。

【履修方法】

●履修方法が「I・S」の科目は、スクーリングの受講が必要。科目毎に受講日数が1日間、別途受講料(4,500～11,000円)が必要(目安)。

福祉

【教育職員免許法の該当法令】 5条別表1 6条別表3 6条別表4

※高等学校教諭1種免許状「福祉」を取得希望の場合、教育職員免許法第6条別表第8を根拠にした取得はできません(登録不可)。

施行規則に定める科目区分等		開講コード	開講科目名	開講単位	履修方法	学費(円)	備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項						
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	W8151	○社会福祉原論	2	T	9,000	
		W5531	○職業指導	2	T	9,000	職業指導を含む。
		W5712	社会保障論	4	T	18,000	
		W8152	○老人福祉論	2	T	9,000	
		W8153	○児童福祉論	2	T	9,000	
		W8154	○障害者福祉論	2	T	9,000	
		W5537	○社会福祉援助技術論Ⅰ	4	T	18,000	
		W8155	地域福祉論1	2	T	9,000	
		W5532	○介護概論	2	T・S	9,000	
		科目履修コースでは履修不可					
		W5535	○心身ケア論	2	T	9,000	
		W5536	○高齢者ケア論	2	T	9,000	
		Z5196	中等教科教育法福祉	4	T	18,000	

【「開講科目名」欄の記号について】

●科目名の前に○印がついている科目は、法定基準(施行規則に定める科目区分等)の各科目区分における一般的包括的内容を含む科目を表す。⇒p.105参照

1つの系列で○印がついている科目が複数ある場合、そのすべてを修得しなければ、法定科目の当該系列における一般的包括的内容を充足したことにはならないため注意すること。

【履修方法】

●履修方法が「T・S」の科目は、スクーリングの受講が必要。受講日数が2日間、別途受講料(9,000円)が必要(目安)。

はじめに

教員免許状・
資格の取得

学部(本科)

課程本科

科目履修コース

本科入学資格コース

各種実習

開講科目

教育の基礎的理解に関する科目等

教科:「数学」以外

【教育職員免許法の該当法令】 5条別表1 6条別表3 6条別表8

施行規則に定める科目区分等			開講 コード	開講科目名	開講 単位	履修 方法	学費 (円)	備考	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項								
教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	Z5201	教育原論	2	T	9,000	※2	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	Z5202	学校教育職入門	2	T	9,000	※2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	Z5203	教育社会学	2	T	9,000	※2	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	Z5204	教育心理学	2	T	9,000	※2	
		特別の支援を必要とする 幼児、児童及び生徒に対する理解	Z5205	特別な教育的ニーズの理解とその支援	1	T	4,500	※2	
		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	Z5206	学校教育課程論	2	T	9,000	※2	
	道徳、総合的な学習の時間等の指導方法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	Z5207	道徳の理論及び指導法	2	T	9,000	※1	
		総合的な学習の時間の指導法(※4)	Z5208	総合的な学習の時間の指導法	2	T	9,000	※2	
		特別活動の指導法	Z5209	特別活動の指導法	2	T	9,000	※2	
		教育の方法及び技術	Z5210	教育方法論 (ICT活用含む)	2	T	9,000	※2	
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法							
		生徒指導の理論及び方法	Z5211	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2	T	9,000	※3	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法							
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	Z5212	教育相談の理論及び方法	2	T	9,000		
	教育実践に関する科目	教育実習	科目履修コースでは履修不可						
		教職実践演習	科目履修コースでは履修不可						

【備考】

- ※1: 中学校教諭免許状申請にのみ使用可能。高等学校教諭免許状申請には使用不可。
- ※2: 教育職員免許法第6条別表第8を根拠に、中学校または高等学校の各教員免許状を取得する場合は、教育職員免許法施行規則第18条の2(抜粋)表の「大学が独自に設定する科目」にあてることができる。「大学が独自に設定する科目」の修得方法は、都道府県教育委員会の指示に従うこと。→p.124参照
- ※3: 教育職員免許法第6条別表第8を根拠に、中学校または高等学校の教員免許状を取得する場合、教育職員免許法施行規則に定める「生徒指導の理論及び方法」、「教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)

教科:「数学」

【教育職員免許法の該当法令】 5条別表1 6条別表3 6条別表8

施行規則に定める科目区分等		開講コード	開講科目名	開講単位	履修方法	学費(円)	備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項						
教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	S5191	教育原論	2	T	9,000	※2
		S5452	学校教育職入門 (チーム学校運営への対応を含む。)	2	T	9,000	※2
		S5192	教育社会学	2	T	9,000	※2
		S5193	教育心理学	2	T	9,000	※2
		S5473	特別な教育的ニーズの理解とその支援 幼児、児童及び生徒に対する理解	1	T	4,500	※2
		S5455	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	2	T	9,000	※2
	道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	S5456	道徳の理論及び指導法	2	T	9,000	※1
		S5457	総合的な学習の時間の指導法(※4)	2	T	9,000	※2
		S5458	特別活動の指導法	2	T	9,000	※2
		S5196	教育方法論(ICT活用含む)	2	T	9,000	※2
		S5461	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2	T	9,000	※3
		S5462	教育相談の理論及び方法 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	2	T	9,000	
	教育実践に関する科目	科目履修コースでは履修不可					
		科目履修コースでは履修不可					

【備考】

- ※1: 中学校教諭免許状申請にのみ使用可能。高等学校教諭免許状申請には使用不可。
- ※2: 教育職員免許法第6条別表第8を根拠に、中学校または高等学校の各教員免許状を取得する場合は、教育職員免許法施行規則第18条の2(抜粋)表の「大学が独自に設定する科目」にあてることができる。「大学が独自に設定する科目」の修得方法は、都道府県教育委員会の指示に従うこと。(⇒p.124参照)
- ※3: 教育職員免許法第6条別表第8を根拠に、中学校または高等学校の教員免許状を取得する場合、教育職員免許法施行規則に定める「生徒指導の理論及び方法」、「教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)

はじめに

教員免許状・資格の取得

学部(本科)

課程本科

科目履修コース

本科入学資格コース

各種実習

開講科目

》幼稚園・小学校・中学校・高等学校教諭免許状(共通)

大学が独自に設定する科目

取得希望する免許教科に該当する科目を登録してください。

幼稚園、小学校、高等学校「書道」および「福祉」は教育職員免許法第6条別表8を根拠にした場合、登録不可。

【教育職員免許法の該当法令】 5条別表1 6条別表3 6条別表8(※を除く)

施行規則に定める科目区分等		開講コード	開講科目名	開講単位	履修方法	学費(円)	6条別表8 適用外
大学が独自に 設定する科目	幼稚園	S5481	人権(同和)教育	2	T	9,000	*
	小学校	S5471	人権(同和)教育	2	T	9,000	*
	中・高「数学」		人権(同和)教育	2	T	9,000	
	中「社会」	Q5581	人権(同和)教育	2	T	9,000	
	高「地理歴史」		人権(同和)教育	2	T	9,000	
	高「公民」		人権(同和)教育	2	T	9,000	
	中・高「宗教」	B5581	人権(同和)教育	2	T	9,000	
	中・高「国語」	M5581	人権(同和)教育	2	T	9,000	
	高「書道」		人権(同和)教育	2	T	9,000	*
	中・高「中国語」	N5581	人権(同和)教育	2	T	9,000	
	中・高「英語」	P5581	人権(同和)教育	2	T	9,000	
	高「情報」	T5581	人権(同和)教育	2	T	9,000	
	高「福祉」	W5681	人権(同和)教育	2	T	9,000	*

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

取得根拠が教育職員免許法第5条別表第1(特別支援学校教諭免許状取得希望者は除く)の方のみ履修可能。

【教育職員免許法の該当法令】 5条別表1

法定基準		開講コード	開講科目名	開講単位	履修方法	学費(円)
教育職員免許法施行 規則第66条の6に 定める科目	日本国憲法	Z1001	日本国憲法	2	T	9,000
	体育	Z1002	スポーツ論入門	2	T	9,000
	外国語コミュニケーション	Z1003	英語コミュニケーション	2	T	9,000
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	Z1004	情報処理入門	2	T	9,000